広報
さめがわ

1972
1月号
No.218
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町・佐藤印刷所



元朝晴朗

見はるかす山なみすべて静もりて樹氷ふるわし陽はのぼりくる

ふりし代に兵馬きたえしときく岡にいまたかだかと学び舎たちぬ

（曙　峯）

あけましておめでとうございます

⊙1月6日　消防出初式
⊙1月15日　成人式（鮫川村公民館）
⊙第3日曜日は『家庭の日』です

今月の人口
（12月27日現在）

人口	6,495	(＋8)
男	3,280	(＋3)
女	3,215	(＋5)
世帯	1,197	(　0)

村税完納に感謝

―年内に全村完納達成―

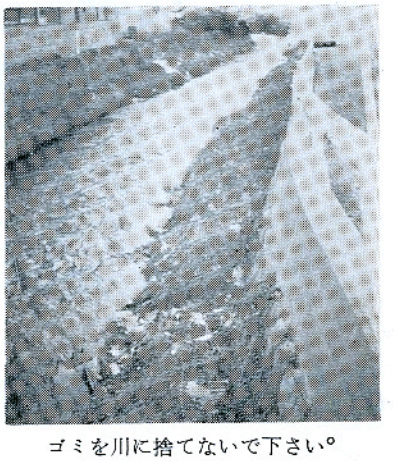
納税については、村民皆様の深いご理解とご協力を頂き毎年全村完納の実績をあげておりますことを深く感謝いたします。

昭和四十六年度も皆様のご協力により前年度に引続き、十二月二十五日に「全村完納」の実績をおさめました。

昨年は、台風や冷害などで、農作物の減収が大きかったにもかかわらず「継続十五年全村完納」の金字塔をうちたてていただきましたことまことにありがたく厚くお礼を申し上げます。

良くなる 県道棚倉鎌田線

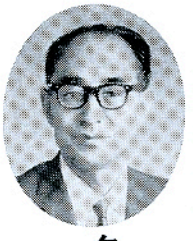
県では毎月「知事面会日」を設け、いろいろな問題の相談をうけていますが、このたび赤坂西野字岫長の矢吹啓松（村議）さんは、十二月十四日の知事面会日に、県庁を訪れ、県道棚倉・鎌田上三坂線の早期改良について直接知事とお話し合いをしてきました。矢吹さんは特に道路の悪い石神地内からの改良工事を陳情し、知事も早期に着工を確約されました。



ゴミを川に捨てないで下さい。

おはなのふみ (9)

冬来りなば春遠からじ



村長　石田卯子八

激動の年代といわれる一九七〇年代も、既に二年をおくり、第三年目の昭和四十七年を迎えました。

去る年がいろいろな意味で恵みうすき年であっただけに、今年こそ皆様のうえに愛と光の豊かに訪れますことをお祈りするばかりであります。

昨年の異常気象は、春の凍霜害に始まり、夏期低温、長雨、秋の台風と追いうちをかけられ昭和二八年よりも更に条件がわるく、昭和九年の大冷害年次にも比すべき異常さでありました。

この困難な気象条件下に、農家の方々は最善の技術と努力をつくしてよく頑張りましたが、世界的な経済変動がアメリカのドル防衛政策を原点として、輸出不振、農産物輸入の自由化などが強化され、円の切上げも予想を越えた一六・八八％で実施され、経済界全体の不況は、国民生活を不安と動揺のふちにおとしいれようとしております。

加えて国内には沖縄復帰についての政策的な対立、国際的には日中国交回復の課題、印度パキスタン戦争などがあり、まさに激動の様相を深めてきました。

しかしながら、ふるき年は去り望み多き新春を迎えたのであります。ここに新なる勇気と、英知と協同の力を振起して、困難に立ちむかう決意を確くしたいものであります。

一昨年来招かれざる客として訪れた米の生産調整は、わが村は昨年も県から示された目標をわずかに上廻って達成し、生産調整奨励補助金の額は、目標消化の特別奨励金を加えて四、〇〇〇万円を超えることになりました。

今年もこの政策は実施されるものと思いますが、農業生産の地域分担制の確立と、首都圏食糧供給基地としての当地域の役割が、国家的見地から確認され、作付面積の適正な調整、転換作目の育成誘導、土地改良などの公共投資が思い切って行われることを望んでやみません。

このような時期に当り、多年の宿願であった統合鮫川中学校は計画三年次の広大な体育館、美しい水泳プールを完成し、新宿口道路も竣工してその堂々たる偉容を壇の岡の高台に現わしました。

昭和二二年新制中学校の創立当初から心ある人々の悲願であった一村一中学校が実現したわけで、深くよろこびにたえません。

国、県、村道を初め、農林道の改良開発計画も、災害復旧、冷害対策を含めて前年度の三〇％程度多く実施する予定であり交通機関の不備をかこつた村の交通事情も次第に改善される見通しとなりました。

冬来りなば、春遠からじ。苦難の季節を越えて、新しい年の希望をあたためつつ皆様と共により近代的な栄光ある郷土の建設に進みたいと思います。

おめでた

十二月二十七日現在

前折戸　霜田　和子　父　幸巳
官代　前田　正浩　〃　正喜
西野沢　芳賀　英樹　〃　操
卸木田　生田目亮子　〃　三郎
二反田　鷺野谷弘美　〃　弘行
草木　芳賀康子　〃　芳雄
西野沢　芳賀　幸恵　〃　健一
彦次郎　松本　章　〃　恵治

おくやみ

十二月二十七日現在

江竜田　芳賀　一郎　77才　世帯主
大石草　芳賀　フヂ　74才　弘
上耕地　赤坂　タケ　85才　市之助
重男



あぶない!!　あぶない!!
ひょっこりとびだし　うっかりおうだん

私達の村政に望むもの

座談会

激動する世相の中にあつて村民として村政に何を望むか、忌憚のない意見や要望をおきくするため、農林業畜産・特用作物・商工業関係の方々や老人、婦人、など特に青壮年の方々にお集りをいたゞいて座談会を開きました。

次にその要旨を掲載します。

司会　只今から「私達の村政に望むもの」と題して座談会を始めます。最初に村長にあいさつをお願いします。

村長　一九七〇年代は激動の年代といわれていましたが、七一年は近年にない大冷害、米の生産調整など、それにアメリカのドル防衛、日中国交回復問題等大変世の中の動きの激しい年でありました。

また何よりも心配されることは不景気になつて、くらしにくゝなるのではないかということです。

このようなむづかしい社会の波をのり切るには、中堅になる皆さん方の考え方や、実行で示される指導が大変大きな役割を果すことになります。

今日は、地域の中心となつて熱心に農業をやつておられる方商工関係、ご婦人や高令者の代表の方々にお出を願つて、これからの村政に何を希望されるかについてお話しあいをお願いすることにしてありますからよろしくお願いいたします。

司会　皆さん方は、それぞれの部門で活躍されている方々ですので、忌憚のないご意見をお願いします。

最初に養蚕関係の高坂さんからお願いします。



高坂　私の養蚕経営は、桑園一町五反で六五箱を掃立てました。収繭量は昨年より一〇〇㎏多かつたのですが金額は逆に三五万円程減つています。

これからも桑園を造成することにより相当の収入を得ることができるので、桑園の新、改植について村の助成をお願いしたいと思います。また農道の改修についても村の助成があればと思つています。

村長　高坂君は養蚕で二〇〇万円以上の収益をあげた東白川郡内第一の養蚕家ですが、収益が落ちたことは残念でした。これも繊維交渉、ドル防衛の影響などで繭の価格が低迷したためです。

しかし他の農作物から見ると被害は少い方だと思います。

桑園の造成については、若干でも助成のあることは望ましいので今後検討を加えたい。

また農道については、主産地形成のためそれに応じた道路の整備が必要であつて、小型自動車ぐらいは通れる道路をつくるべきです。是非村と地元が協力して作業道を作るよう努力したいと思つています。

司会　商工会では、年末年始の大売出し等を計画されているようですが……。

湯坐　私達は、商工会青年部を結成し、毎月会合をもつて、いろいろと話し合いを進め、シール等によるサービスを行つて売り上げを伸ばすよう努力していますがなかなか売り上げが伸びないので皆さん方も是非村内の商店から買うようにしていただきたい。



商工会では、昔のように暮市を復活させる計画もあります。要望としては現在村がやつている預託金制度の期間を延長する等改善方をお願いします。

又新宿や広畑の商店街の道路が狭いので交通安全のためにも駐車場が必要だと思いますが何んとかならないでしようか。

村長　本村の商工業は大体農家を対象としているので、冷害などによる農家の収入減が直接売上げにひゞいていると思います。

このようなきびしい情勢の中

年頭の挨拶
村民生活の安定向上を期して



議長　大楽勝男

昭和四十七年の年頭あたり、鮫川村議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

村民の皆さん新年おめでとうございます。希望にあふれる新年を迎えるにあたり皆様のご清福とご繁栄を心からおよろこび申し上ます。

就任以来その重責を痛感し新たな決意をもち微力ながら、円滑な議会運営と村政の伸展を期し、誠心誠意懸命の努力を傾注して居るつもりでございます。

おかげを持ちまして大過なく越年することが出来ました。これ一重に村民各位のご支援とご協力の賜でありまして、心から感謝の意を表する次第でございます。

顧みますと一九七〇年代は激動の年代であると予言されましたが幾多の問題をかゝえて越年した訳でありますがとりわけ昨年は作付以来の異状天候で、農産物は甚だしい減収となり、個々に及す影響も大きく、昨夏よりのドルショックの影響も益々深刻化するものと覚悟せざるを得ないものと思考されます。

いよいよ各自営農経営の革新の時期となりました。議会におきましても村当局の施策と相まつて、林村県道の改良整備を促進し、更に村民生活の安定向上福祉の増進を図るため、農村工業の導入等重要問題の調査研究を推進し、本村の一層の躍進の年として村政全般にわたり、最大の努力を傾注して、終始公正に慎重審議し、村民各位のご期待にそうべく専心努力を続ける覚悟を新にして居ります。

皆様の村政に対する一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたしまして、新年のご挨拶といたします。

で、青年部の方々が積極的に活動を進めていることは、大変ありがたいことです。

預託金制度は、数年前つくった方法で、現在では適応しない面もあると思うので再検討したいと考えています。

又道路と車の関係はイタチゴッコの感があるが、道路は、地元負担の少い方法で巾員の広い道路を作るよう努力しています道路が良くなると地元の商店が発展するかというと、必ずしもそうばかりはいえないようですが、村民の安全を守る点からも駐車場の設置はむづかしいことながら、地権者や業者の方々の協力を得て努力したいと思います。

司会　家庭を守る主婦の立場からご意見をお願いします。



星　私は越虫部落ですが、以前は小学生と中学生が一緒に通学していたので大した心配はありませんでしたが、現在はスクールバスで中学生が通学するようになつたので、小学生は徒歩で遠いところを時には一人で通学しなければならないので冬期間などは心配でなりません。定期バスを通して貰いたいと思いますが見通し等はどうでしょうか。

村長　定期バスを通す運動は、幾度かやりましたが、最近は人口の減少や自家用車の増加で、過疎地域のバス路線は次々と廃止される傾向にあります。このような時期ですから営業バスを青生野に通すことはなかなか困難と思います。

ただ国道二八九号線が全線改良され、いわき市に直通するようになれば情勢は大分変つてきます。今の場合はスクールバスの運行しかないわけですが、児童数や距離の問題もあるので、教育委員会と相談して検討してみたいと思います。

司会　森さんは、水田、養蚕、和牛と巾広い農業経営を行なつていますが、その経営の中で婦人の立場からお願いします。



森　以前は農休日を定め一斉に農作業を休んでいましたが、最近は農休日がなくなつてしまいました。第一及び第三日曜日等に農家も月給とりも一緒に休むように取計らつていただきたいと思います。

村長　以前は一日、十五日を農休日と定めて一斉に休んだことがありましたが、だんだん実行されなくなりました。日曜日を農休日とするのはよいアイデアであると思います。しかし農休日は村がきめるというよりは生活改善団体や組長大会等で申し合わせて村民運動として実行することが望ましいと思います。

司会　関根さんに老人の立場からお願いします。

老人にいこいの場を……



関根　私たち老人が望んでいることは、老人の憩の場を作つて貰いたいことです。四七年度中にも予算化して是非実現していただきたい。又各大字ごとに老人の無料健康診断を実施してもらいたいと思います。

村長　現在村が繁栄しているのは高令者の方々の遺産でもありますから、その功労にむくいるためにも高令者の方々を大切にしてあげなければなりません。憩の場も是非作りたいと思つています。ただ多額の費用が必要なので、広域市町村圏整備組合の事業として鮫川村に作るよう話を進めています。温泉源を利用でき、交通の便も充分考慮して四七年度には是非建設にかかれるよう努力するつもりです。

健康診断についてはご希望にそうよう検討してみます。

高坂　三人か五人くらいで利用する農道を作るときでも補助の対象になりますか。

村長　耕地面積五町歩位の地区なら簡易作業道として県の補助をうけて作りますと、地元負担は軽くてすみます。

森　最近ゴミや紙くずで川が大変汚れて環境衛生上困つたことだと思います。何んとかならないものでしょうか。

村長　環境の保全ないし美化することは、地域に住む人たちみんなの共同責任であることの理解が大切だと思います。青い空、きれいな空気とともに清らかな水の美しさを汚染してはなりません。お互の自覚と共同の努力で守つて行きたいものです。

星　このような座談会は有意義だと思います。是非各部落などで開催していただきたいと思います。

村長　適当な時期に是非計画してみましょう。

司会　長時間にわたり熱心にお話しあいをいただきましてありがとうございました。皆さんからの貴重なご意見やご要望は是非村政に反映させるよう努力したいと思います。

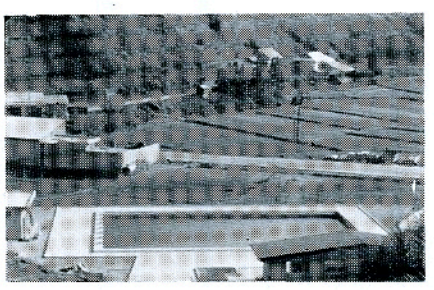
これで本日の座談会を閉じます。

出席者（順不同・敬称略）
村長　石田卯子八
関根銀治・高坂一郎・湯坐啓亘・森芳子・星フミ子
（司会）総務課長　坂本恵司

中学校水泳プール完成

鮫川中学校の体育施設として、七月十五日から矢吹町の高田建設が請負い、工事が進められていたが、十月三十日立派に完成しました。

本体工事費一、二二〇万円
（内機械、給排水費三〇〇万円



巡ケ作地内に完成した中学校水泳プール